

平成24年度 第5回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成24年12月18日(火) 13:30～15:30
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 12名(1名欠席)
事務局 中央公民館長、館長補佐、管理係長、分館主査9名(1名欠席)
- 4 傍聴者 1名
- 5 配布資料 (1) 第2回東京都公民館連絡協議会委員部会研修会
第7回・第8回東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告書
・・・資料1
(2) こだいらふるさと冊子編集プロジェクト
「やっぱり こだいらが好き」・・・資料2
(3) 各公民館主催講座チラシ・・・・・・・・・・・・・・資料3
(4) 上宿公民館利用者懇談会発行「上宿あれこれ」・・・・・・・・資料4
(5) 小平市社会教育委員の会議 報告書「地域力を高めるために
～地域活動に関するアンケートにもとづいて～」・・・資料5
(6) 第二次小平市男女共同参画推進計画
「小平アクティブプラン21」・・・・・・・・・・資料6
(7) 平成24年度 小平市公民館定期講座実施状況表・・・・・・・・資料7
(8) 館長報告資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料8
(9) 「公民館のあり方の検討」(案)・・・・・・・・・・・・資料9
(10) 「ひらく」平成24年10月発行・・・・・・・・・・・・資料10
(11) 第12回 大沼公民館まつり(ご案内)・・・・・・・・・・資料11
(12) 上水南公民館友の会発行「友の会ニュース」第120号・・資料12
(13) 平成24年度第4回小平市公民館運営審議会 会議要録・・資料13
(14) 小平市立仲町公民館・仲町図書館改築工事(建築工事)
及び旧中町図書館解体工事図面・・・・・・・・資料14
(15) 公民館講座のための意見交換会実施報告書・・・・・・・・資料15

- 6 次第
- (1) 館長報告
 - (2) 平成 24 年度公民館定期講座実施状況について
 - (3) 平成 24 年度東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会・職員部会からの報告について
 - (4) 公民館講座のための意見交換会について
 - (5) これからの公民館の役割について
 - (6) その他

会議の概要

1 館長報告

事務局より資料 8、14 について説明した。

- (1) 平成 23 年度決算 概要
- (2) 12 月市議会 定例会 一般質問
- (3) 小平市立仲町公民館・仲町図書館改築工事（建築工事）及び旧仲町図書館等解体工事請負契約の締結について

(質疑応答)

委員 仲町公民館・図書館について、細かい部分の変更はできるか。避難所としての機能やトイレの数や車いすが入れるかどうか等を考慮したほうがよい。

事務局 基本設計の段階で市民からの要望を聞き、実施設計に反映させているので、基本的にはこのかたちで進めていく。たてもとの整備課とも十分に検討し、福祉のまちづくり条例に基づいて設計している。

委員 設計変更になった部分について、住民説明会は行ったか。

事務局 大幅な変更ではないので、特に説明する必要はないと市で判断した。

委員 変更点は、保育・おはなし室の面積が狭くなったことか。保育・おはなし室、授乳室等の位置については、保育に携わる人の意見を取り入れたか。利用の安全性を考慮すると、取り入れるべきではないか。

事務局 面積の大幅な縮小があったわけではなく、位置が変更になった。特に保育に携わる人の意見は聞いていないが、建物の規定や全体のバランスを見て設計されている。

2 平成 24 年度公民館定期講座実施状況について

事務局より資料 13 について説明した。

- (1) 公民館まつりについて

10 月以降、小川、花小金井北、上水南、小川西町、津田、鈴木の各館で公民館まつりが実施された。各館とも大変盛況で、来場者数については、多くの館で前年を上回った。近隣の小中学校と連携して、生徒の作品展示や舞台発表、ボランティアとして

の参加がまつりを盛り上げた。また、健康や歴史に関する講演会、コンサートが非常に好評だった。

今後は、1月19日、20日に大沼公民館まつりが開催される。利用団体の展示発表、小平第六中学校箏曲部、吹奏楽部の演奏や地域活動部によるキッズコーナー、こだい水と緑の会による玉川上水の歴史に関する講演会等が予定されている。

(意見等)

委員 花小金井南公民館の俳句サークルで活動しているが、公民館の講座に合わせて、館内にサークル活動や会員募集を大きくPRさせてもらい、新しいメンバーが増えた。講座の内容に関連したサークルには、PRの場を設けることで、活発な公民館活動につながるのではないかと。

事務局 サークルのチラシだけでは発信力が小さいので、サークル支援の一つとして、講座の内容に合わせてPRの場を提供している。

委員 募集定員を超えている講座が多く、講座終了後のつながりも広がっているのではないかと。市民がよい講座を受講し、人が来ることを実感し、今度は自分たちが主体となって、講座づくり等の活動していく方向に行くと、さらに自分たちの公民館だという感覚が根付くのではないかと。

委員 公民館まつりをいくつか見学した。高校生のボランティアの姿が見られ、若い世代を取り込むことが実践されていると実感した。

3 平成24年度東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会・職員部会からの報告について

委員、事務局より資料1について説明した。

4 公民館講座のための意見交換会について

事務局より資料15について説明した。

11月8日から22日まで、各館で講座のための意見交換会が実施された。寄せられた意見の中で、開講を希望する講座については、例年と同様に、趣味・教養に関する講座が多かった。また、親子での参加や、男性が参加できるものについても、比較的多くの希望があった。ここでの意見や要望を踏まえ、平成25年度の事業計画案を検討する。

(意見等)

- 委員 公民館利用者からの意見や要望を聞く場は非常に貴重で、それぞれが自分の受講した講座やサークルに思い入れがあり、大切にしていることがよく分かった。
- 委員 一般市民の参加が少ない。もっと呼びかけをして、公民館について理解してもらう努力が必要ではないか。公民館を利用していない人からも、幅広い意見を募るべきではないか。
- 委員 講座のためと限定せず、地域の課題や問題を持ってきてもらう場として設定することで、より幅広い意見が聞けるのではないか。
- 事務局 自治会の方も参加しているので、地域の課題等を講座に反映し、課題解決につながる事業ができればとよい考えている。

5、これからの公民館の役割について

事務局より資料 15 について説明した。

少子高齢化が進む中で、コミュニティはますます希薄になっている。このような社会環境の変化に対応した今後の公民館としては、個人の教養を高めるよりも、地域の課題を解決し、それによって生活の質を高めるための、地域の人のネットワークづくりや、リーダーの育成に力を入れていきたい。

(意見等)

- 委員 公民館は地域の人がつながることはもとより、講座等のテーマに基づいていろいろな人がつながる場としての可能性を持っているということを踏まえて実践してほしい。

6、その他

今回は、1月22日(火)午後1時30分より、中央公民館会議室にて開催する。